

## 2020 年度教育研究活動報告用紙（様式 9）

氏名	西村 貴子	職名	講師	学位	修士（栄養科学）（中村学園大学 2018 年）
----	-------	----	----	----	-------------------------

研究分野	研究内容のキーワード
食生活学（臨床栄養を含む） スポーツ科学・応用健康科学	健康と食生活、食教育、食と環境、栄養アセスメント スポーツ栄養学、障害者スポーツ、栄養指導

研究課題
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床における障がい特性に合わせた効果的な栄養アセスメント項目の探索</li> <li>2. 日本人障がい者を対象とした基礎代謝量等のエネルギー消費量推定に関する基礎研究</li> <li>3. 身体活動（運動を含む）量と摂食行動および摂食関与因子との関連についての検討</li> </ol>

担当授業科目
初年次セミナーⅠ（1年前期） 臨床栄養管理学（2年後期） 栄養教育論実習Ⅱ（3年後期） 運動・環境と栄養（3年後期） 総合演習Ⅱ（4年前期） 管理栄養士演習Ⅱ（4年通年） 臨地実習Ⅱ（3年後期）

授業を行う上で工夫した事項（※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項）
<b>授業科目名【 臨床栄養管理学 】</b> 本科目では、基礎分野（人体の構造と機能及び疾病の成り立ち・基礎栄養学）で学んだ栄養についての知識（理論）を、病院や介護といった臨床（現場）でどのように活用するか、その実践方法の修得を目的とする。具体的には、栄養状態の評価・判定（栄養アセスメント）の手法、栄養補給、栄養教育、食品と医薬品の相互作用等について、理解を深め、多職種連携を含めた総合的な栄養ケアマネジメントの考え方について、病院で行われている事例を提示しながら、解説する予定である。
<b>授業科目名【 栄養教育論実習Ⅱ 】</b> 栄養ケアマネジメントを行うためには、対象者の望ましい行動形成と変容を図るための教育的手法を修得する必要がある。本科目では、人間の行動に関する科学的な根拠をもとに、個人栄養指導・集団栄養指導それぞれの利点・欠点の理解するため、具体的な教育手法についてロールプレイングを取り入れた実習を行う。
<b>授業科目名【 総合演習Ⅱ 】</b> 本科目では、実践栄養分野において、栄養士としてのマネジメント能力を培うことを目的とする。「臨床栄養管理学」および「栄養治療学」で学んだ内容を実際に演習する。具体的には、疾患を持つ症例を具体的に提示し、それらに対して、特有の病態や治療法の把握、栄養アセスメント項目の選択と総合的な栄養評価の実施、目標の設定、栄養補給方法の選択や症例に提示する行動計画といった詳細な栄養ケア計画立案に至るまでの一連のマネジメント手法について、実際の状況を想定した演習（訓練）を行う。
<b>授業科目名【 管理栄養士演習Ⅱ 】</b> 演習問題の直接の内容にとどまらず、実際の現場での活用方法や他職種の理解及び連携について事例を提示し、一部に固執せず、多面的かつ総合的な判断ができるような講義展開を行う予定である。

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期
日本栄養士会	正会員	2003年4月～現在に至る
日本スポーツ栄養学会会員	正会員	2014年4月～現在に至る
九州体育・スポーツ学会会員	正会員	2015年6月～現在に至る
日本健康支援学会会員	正会員	2015年12月～現在に至る
日本体力医学会	正会員	2017年5月～現在に至る

2019年度 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(著書) なし				
(学術論文) 1. 児童のスポーツ活動状況と食意識および保護者の食教育に対する意識の関連性 (査読あり)	共著	2020年1月	日本スポーツ栄養研究誌, 13, 40-51	①日本人児童の食意識の現状に関して、スポーツ活動習慣の有無による差異を活動実施時間の視点を含めて明らかにすると共に、保護者の食教育に対する意識との関連を検証した。7時間/週以上の積極的なスポーツ活動は、男子児童の食意識の一部および保護者の食教育に対する意識に関連していたが、関連を示した設問は一部に限局されていた。また、食行動に対する児童と保護者の意識には、ギャップが存在することが明らかとなった。 ②共著者名 西村貴子、熊原秀晃、森村和浩、大和孝子、中野修治、田中宏暁 ③筆頭著者としてデータ解析・執筆。ただし研究遂行においては共同研究につき本人担当部分抽出不可能
(翻訳) なし				

<p>(学会発表)</p> <p>1. 高校男子カヌー選手の競技レベルによる身体的特徴と栄養素等摂取状況</p>	<p>共著</p>	<p>2019年8月</p>	<p>日本スポーツ栄養学会 第6回大会(東京)</p>	<p>①本研究は、カヌースプリント競技における全国トップレベルの高校男子選手の体組成および栄養素等摂取量を地区大会レベルの選手と比較することで競技パフォーマンスに関連する要素を検討した。トップレベルの競技パフォーマンスは、体重および筋量、特に上肢の筋量の多さに関連することが示唆された。また、全国トップレベルの選手の体重1kgあたりのエネルギー摂取量は、地区大会レベルの選手より高いという実態が明らかとなった。摂取エネルギーの確保は、競技レベル向上と関連すると考えられる体格を獲得する為の一要因となる可能性が推察された。</p> <p>②共著者名 西村貴子、熊原秀晃、桑原風香、南部玲奈、河野美里、厚田貴恵、中野修治、大和孝子</p> <p>③筆頭発表者としてデータ解析・口頭発表。ただし、研究遂行においては共同研究につき本人担当部分抽出不可能</p>
<p>2. 成人男性における乳酸閾値強度の運動に対する日中の主観的食欲及び摂食の急性応答</p>	<p>共著</p>	<p>2019年9月</p>	<p>第74回日本体力医学会大会(茨城)</p>	<p>①乳酸閾値強度(LT)の運動ならびに異なる運動条件による一過性運動が日中の主観的食欲及び摂食量へ及ぼす影響を検討した。一過性のLT運動は、運動未実施日の摂食量との比較から日中の摂食行動に影響を及ぼさないと考えられた。また、高強度運動の直後は主観的食欲が低下するが、日中の総摂取量に対する急性影響は認められなかった。</p> <p>②共著者名 西村貴子、熊原秀晃、竹田奈緒、上野晏菜、野田友望、落合静、大坪美緒、玉江香澄、安慶彩花、鯉川桜子、大和孝子</p> <p>③筆頭発表者としてデータ解析・口頭発表。ただし、研究遂行においては共同研究につき本人担当部分抽出不可能</p>

				教育研究業績総数 (2020年4月16日現在) 著 書 0 学術論文 3 (内訳 単0、共3) 学会発表 15 (内訳 単0、共15)
--	--	--	--	---

外部資金 (科学研究費補助金等) 導入状況 (本学共同研究費を含む)			
(1) 共 同 研 究			
研 究 題 目	交付団体	研 究 者 ○代表者 ( ) 内は学外者	交付決定額 (単位:円)
なし			

外部資金 (科学研究費補助金等) 導入状況 (本学共同研究費を含む)			
(2) 個 人 研 究			
研 究 題 目	交付団体	交付決定額 (単位:円)	備 考
なし			

社 会 に お け る 活 動 等		
団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等	任 期 期 間 等
<b>【委員会等】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公益財団法人福岡県体育協会 スポーツ医・科学サポート事業</li> <li>・公益財団法人日本障がい者スポーツ協会 日本パラリンピック委員会 医・科学・情報サポート事業</li> <li>・福岡県女性アスリート医科学サポート研究委員会</li> <li>・一般社団法人日本パラ陸上連盟 強化委員会</li> <li>・一般社団法人日本車いすテニス協会</li> </ul> <b>【短期団体活動】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界パラ陸上競技ジュニア選手権大会 2019 (ノットヴィル) 日本選手団</li> <li>・ドバイ 2019 世界パラ陸上競技選手権大会 日本選手団</li> </ul> <b>【講習会・セミナー等】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・城東高等学校野球部</li> <li>・福岡高等学校ラグビー部</li> <li>・小郡市立立石中学校 PTA 講習会</li> <li>・スポーツ振興くじ助成事業 JPC (日本パラリンピック委員会)</li> </ul>	スポーツ医・科学スタッフ (スポーツ栄養領域) 栄養領域スタッフ 委員 強化委員 栄養サポート強化スタッフ 栄養サポートスタッフ 暑熱対策サポート (栄養士) 講師 講師 講師 講師	2013年4月～現在に至る 2016年4月～現在に至る 2019年12月～現在に至る 2020年4月～現在に至る 2020年4月～現在に至る 2019年7月29日～8月8日 2019年11月1日～11月16日 2019年5月3日 2019年5月11日 2019年7月25日 2019年8月22日～8月23日

<p>選手・強化スタッフ研修会事業 第1回JPC 新人アスリート研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者スポーツ指導者協議会九州ブロック令和元年度地域特別研修会</li> <li>障がい者スポーツ指導者研修会 (九州ステップアップ研修会)</li> <li>・スポーツ振興くじ助成事業 JPC (日本パラリンピック委員会)</li> </ul> <p>選手・強化スタッフ研修会事業 第2回JPC 新人アスリート研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福岡県教育委員会 福岡県教育庁北筑後教育事務所</li> <li>平成31年度市町村立小・中学校健康・体力向上マネジメント研修会</li> <li>・(一社)日本パラ陸上競技連盟強化委員会 2019年度 J-STARプロジェクト第4回合宿</li> <li>・熊本県立大学 生活習慣病患者とアスリートを対象とした栄養マネジメント手法を理解するためのセミナー</li> </ul>	<p>講師</p> <p>講師</p> <p>講師</p> <p>講師</p>	<p>2020年1月19日</p> <p>2020年1月25日～1月26日</p> <p>2020年2月5日</p> <p>2020年2月8日～2月11日</p> <p>2020年2月20日</p>
--	---	---

学内における活動等 (役職、委員、学生支援など)

- ・学生個人情報保護委員会委員 (2020年4月～現在に至る)
- ・情報システム管理運用委員会委員 (2020年4月～現在に至る)